ミライ、ワク・WORK♪ vol.62

霧島市にはたくさんの企業があり、
そこで多くの若者が生き生きと働いています。
このコーナーでは、そんな企業や若者の暮らしを紹介します。
第62回は株式会社ホテル京セラの藤井彩子さん(21)です。
就職を控える生徒や学生の皆さん、
ぜひ霧島市で働き・暮らすという未来を描いてみませんか。

霧島市内はもとより、県内でも格式高いホテルの一つとして知られるホテル京セラ。故・稲盛和夫氏が「地域に貢献したい」との思いから創業し、建物は故・黒川紀章氏が設計しました。13階建ての高さを生かして、ブライドを使って描く窓文字は、地域に住む私たちを楽しませてくれる取り組みです。

宿泊客は市外からの旅行者やプロスポーツチームなどさまざま。用途に合わせて利用できる大小五つのホールは、婚礼や宴会で多くの利用があります。主に婚礼や宴会のスタッフとして働くのが、入社3年目の藤井彩子さん(21)です。会場の様子を見て配膳のタイミングを調理場と調整する、責任ある役割を任されている藤井さん。「大きな宴席も任せてもらえるようになって大変さもありますが、その分充実感は格別」と笑顔を見せます。

レストランやバー、温泉、ジムなどがある同ホテルは、宿泊以外の利用客でもにぎわいます。「宴席がないときにはレストランの手伝いをすることもあり、それも楽しいです」

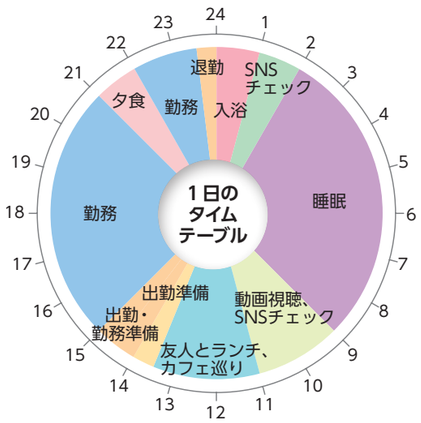
「人と関わることが好き」と話す藤井さん。入社の理由について「直接お客さまと顔を合わせる仕事に就きたかった。今までお世話になった人に自分のおもてなしで恩返しできると思い、ここに決めました」と振り返ります。

入社当時は18歳でお酒の知識がなく、お薦めを聞かれたり味を聞かれたりして、とても苦労したそう。「私にも分かるように、先輩が丁寧に教えてくれました。協力してお客さまをもてなすからこそ、お互いに助け合う意識が高い職場です」と胸を張ります。

「グラスの減り具合や飲んでいるお酒の種類などを気にしながらお声かけして、『よく分かったね』『ありがとう』と笑顔で言ってもらえるのが何よりうれしいし、やりがいです。お客さまの笑顔に元気をもらえる職場で、ぜひ一緒に働きませんか」

株式会社ホテル京セラ ブライダル・バンケット担当
藤井 彩子さん(21)
隼人町出身。国分中央高校園芸工学科卒業。令和2年入社。特技はサッカー。フラワー装飾技能士3級。両親と兄妹の5人暮らし。隼人町在住。

最高品質のサービスと笑顔でお出迎え。



小物や食器などのかわいい雑貨を探すのが好きで、カフェ巡りやランチに出かけるついでに、いろいろなお店を訪れています。店員さんから接客を受けることで楽しみながら接客の勉強ができ、自分の仕事にも生かせていると思います。

手作りの陶器やアクセサリーなどの販売だけでなくカフェとしても利用できる、霧島田口にある雑貨店「星とのあいだ」。すてきな雑貨が並び、時間を忘れて見入ってしまいます。

隠れ家的なたたずまいも魅力の一つで、テラスから見える絶景を眺めながら自家焙煎のホットコーヒーとソフトクリームを楽しむのが至福のひととき。ソフトクリームのトッピングは冬季限定のチョコ、キャラメルオレオやコーヒーゼリーなど種類も豊富です。

季節によって色を変える景色は、何度でも行く価値ありですよ。

お薦め

星とのあいだ
- 場所＝霧島田口2390
- 営業時間＝午前10時～午後5時
- 店休日＝不定休　●駐車場＝あり

問＝星とのあいだ　☎090(8289)9347

取材協力企業

株式会社ホテル京セラ
隼人町見次1409-1　☎(43)7111
https://www.h-kyocera.co.jp　ホテル京セラ　検索

代表者：福永　健一
創　業：平成7年
資本金：1,000万円

初任給：14.6万～17.3万円
採用実績（新卒／中途）：8人（2人／6人、令和4年度）
従業員数（男／女）：190人（86人／104人）
平均年齢：39歳
有給休暇の平均取得日数：8.6日／年
月平均残業時間：3.6時間
育児休業取得者数（男／女）：5人（0人／5人、令和3年度）
勤務時間：7時間30分／1日、シフト制（年間休日105日）

市ホームページで、このコーナーのバックナンバーをご覧いただけます。